

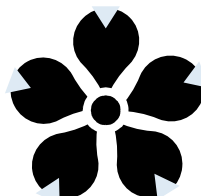
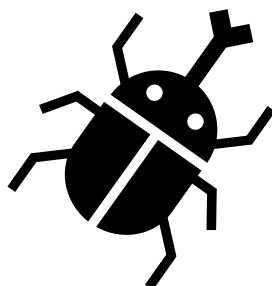
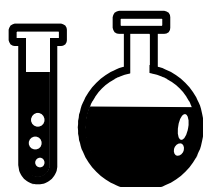
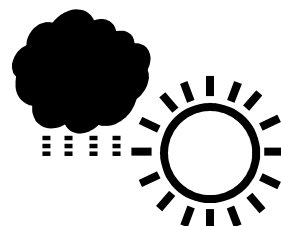
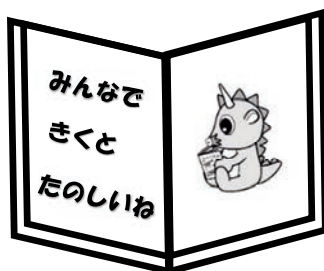
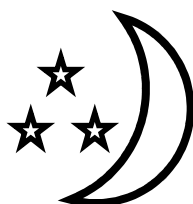
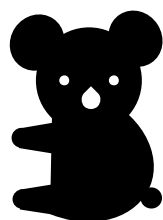
続

ボランティア向け

読み聞かせ

ブロックリスト

- ちしき絵本編 -



さいたま市図書館

— はじめに —

さいたま市では、平成 18 年 3 月に「さいたま市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動推進に取り組んできました。

平成 28 年 3 月に策定した「さいたま市子ども読書活動推進計画（第三次）」では、ボランティアの支援を重点的な取組の一つに掲げています。図書館では、その活動支援の一つとして、平成 29 年 3 月に、「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」を作成しました。

今回の「続 ボランティア向け読み聞かせブックリスト」では、好奇心旺盛な子どもたちにぴったりの科学絵本や、声に出して楽しめる言葉遊びの本を中心に、86 冊を紹介します。また、図書館職員のおはなし会体験談や、すぐに使えるプログラム例など、実践で役立つ情報もギュッとまとめて掲載しました。

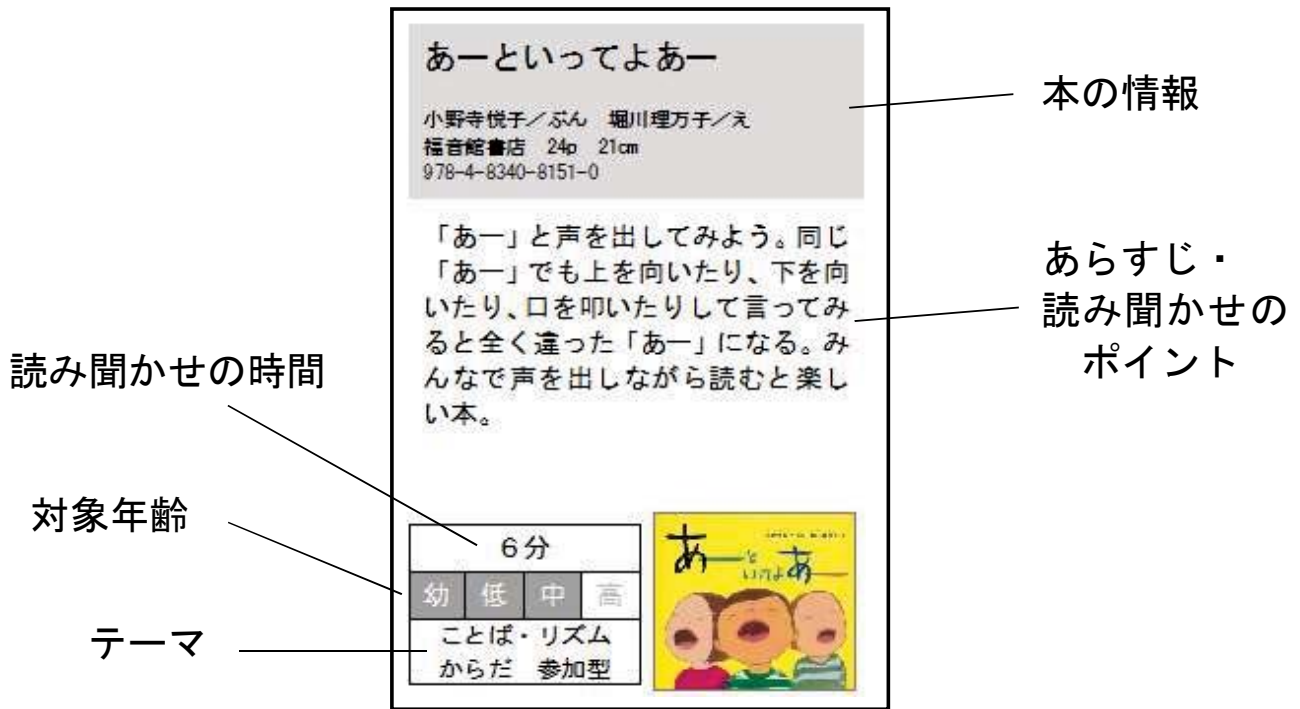
様々な種類の絵本を上手に組み合わせることによって、読み聞かせの可能性は無限に広がります。この 2 冊のブックリストが、ボランティアのみなさんの手助けとなり、多くの子どもたちにおはなしと笑顔を届けられることを、さいたま市図書館は心より願っています。

— もくじ —

はじめに	1
リストの見方	2
本のリスト ～ちしき絵本編～	3
こんなことありました ～図書館員の体験談～	25
読み聞かせ指南	27
プログラム、とりあえず、1 年分	29
テーマ索引	33

— リストの見方 —

- このリストでは、86 冊の本を紹介しています。
- 書名の 50 音順に配列しています。
- リストの見方は以下のとおりです。



- 対象年齢と読み聞かせの時間は目安です。
 対象年齢 幼：幼児 低：小学校低学年
 中：小学校中学年 高：小学校高学年

— ちしき絵本の読み聞かせのポイント —

- 物語絵本と異なり、細かい解説や補足が入り組んでいる場合があります。指をさしながらの説明や、読む前後の解説、時には省略が必要になることもあるでしょう。子どもの様子や会場の雰囲気に合わせて、臨機応変に対応できるよう、事前の準備をしっかりとしておきましょう。
- ちしき絵本は、写真が使われているものが多いのも特徴です。写真絵本は、ページが光に反射しやすいため、子どもが座る位置に実際に座り、ページがきちんと見えるか確認しておきましょう。

あーといってよあー

小野寺悦子／ぶん 堀川理万子／え
福音館書店 24p 21cm
978-4-8340-8151-0

「あー」と声を出してみよう。同じ「あー」でも上を向いたり、下を向いたり、口を叩いたりして言ってみると全く違った「あー」になる。みんなで声を出しながら読むと楽しい本。

6分			
幼	低	中	高
ことば・リズム からだ 参加型			



あさがお

荒井真紀／文・絵
金の星社 32p 25cm
978-4-323-07271-5

赤、青、紫と様々な色の花を咲かせるあさがお。しかし、花を咲かす時間は本当に短い。種を植えてから花が咲き、枯れて再び種ができるまでのあさがおの一生を、スケッチ風の絵で詳細に描く。

6分			
幼	低	中	高
夏 植物(花)			

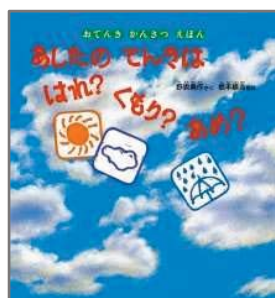


あしたのてんきは はれ? くもり? あめ?

野坂勇作／さく 根本順吉／監修
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1460-0

「ゆうやけは はれ」「ほしが またたくと かぜ」など、明日の天気はどうなるかは、身の回りを観察すれば、自分でも予測できる。専門的な天気予報とも違う、古くから伝わる天気についての知恵を紹介した本。

7分			
幼	低	中	高
天気			



アリからみると

写真絵本

桑原隆一／文 栗林慧／写真
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1989-6

アリの目線になって草むらを探検してみよう。アリから見ると、バッタもトンボもカマキリも巨大なモンスターに見えてくる。大迫力の写真が特徴で、アリの目線を疑似体験することのできる絵本。

3分			
幼	低	中	高
生き物(虫)			



あれこれたまご

とりやまみゆき／文 中の滋／絵
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2272-8

お行儀よくパックの中に並んだ卵たちが、混ぜられたり、焼かれたりして、おいしい料理に大変身。卵からできる料理とそれを作る工程を、関西弁で話すコミカルな卵たちのやりとりを通して紹介した絵本。

6分			
幼	低	中	高
食べ物 料理			



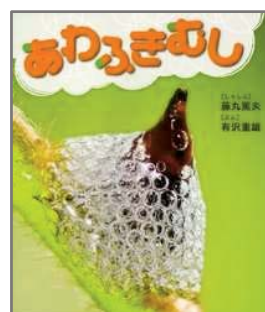
あわふきむし

写真絵本

藤丸篤夫／しゃしん 有沢重雄／ぶん
そうえん社 28p 23cm
978-4-88264-455-2

木の枝や根元、あちこちに見かける謎の白いあわはあわふきむしのしわざ。あわふきむしは自分の体液で作ったあわの中で生活している。あわの作り方やあわを作る理由などあわふきむしの謎に迫った写真絵本。

6分			
幼	低	中	高
生き物(虫)			



いろいろなほん

エルヴェ・テュレ／さく たにかわしゅんたろう／やく
ポプラ社 64p 23cm
978-4-591-13979-0

ページに描かれたいろいろな色の絵の具。青い絵の具を指でさわってから、黄色の絵の具をなでてみる。ページをめくると、黄色が緑に変わっていた！実際に絵の具を混ぜているような気分になれる、色の不思議と楽しさをつめこんだ絵本。

8分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 参加型			



うみべであそぼう

写真絵本

なかのひろみ／ぶん 小林安雅／しゃしん
福音館書店 24p 22cm
978-4-8340-2353-4

潮が退いた海辺に行ってみよう。そこには、ヒトデやウニ、カニなどたくさんの生き物がいて、中には紫色の汁をだす不思議なものもいる。意外にも身近にいる、海辺の様々な生き物を紹介した写真絵本。

4分			
幼	低	中	高
生き物 夏			



ウラパン・オコサ

谷川晃一／作
童心社 32p 27cm
978-4-494-00885-8

1 をウラパン、2 をオコサとして 1 と 2 だけで数遊びをしてみよう。さる 1 匹はウラパン、バナナ 2 本はオコサ。では、ぞう 4 頭は、果物 9 個はなんて言う？不思議な言葉で行う数遊びの本。



4 分			
幼	低	中	高
数 参加型 ことば・リズム			

うんちしたのはだれよ！

ヴェルナー・ホルツヴァルト／文
ヴォルフ・エールブルッフ／絵 関口裕昭／訳
偕成社 24p 22cm
978-4-03-961130-7

ある日、頭の上にうんちをされたもぐらくんは、犯人を捜しに色々な動物に聞いて回る。ところが、どの動物も自分がするうんちとは形が違っていると答える。色々な動物のうんちの形がわかる本。



6 分			
幼	低	中	高
生き物			

うんちレストラン

新開孝／写真 伊地知英信／文
ポプラ社 35p 21cm
978-4-591-09328-3

写真絵本

森の中、うんちを目がけて虫がやってきた。センチコガネだ。うんちをむしゃむしゃ食べている。ダイコクコガネは、うんちの中に卵を産み付け、幼虫はその中で成長する。栄養たっぷりのうんちを求めてやってくる虫たちを紹介した写真絵本。



5 分			
幼	低	中	高
生き物（虫） 食物連鎖			

おいしいほしがき

ひさかたチャイルド 28p 21cm
978-4-89325-995-0

写真絵本

渋くて食べられない渋柿を美味しく食べる知恵、それが干し柿。軒先に吊るした柿が干し柿に変わっていく過程をじっくりと見せる。干し柿を孫とおばあちゃんの会話を通して紹介する写真絵本。



6 分			
幼	低	中	高
秋 食べ物（果物）			

おかしなゆき ふしぎなこおり

写真絵本

片平孝／写真・文
ポプラ社 36p 21cm
978-4-591-13124-4

ぼうしのように積もったゆき、モンスターのように形づくられたゆき、シャンデリアのように見えるこおりなど、冷たい空気と水は時として不思議な世界を作り出す。面白い形をしたゆきやこおりがたくさん出てくる写真絵本。

6分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 天気 冬 水			



おちばのしたをのぞいてみたら…

写真絵本

皆越ようせい／写真と文
ポプラ社 32p 24cm
978-4-591-06501-3

落ち葉の下をのぞくと、そこには不思議な生き物たちがいっぱい。ダンゴムシやミミズなどの落ち葉を食べる生き物、虫眼鏡でしか見えないような小さな虫、色鮮やかな虫…。落ち葉の下という知られざる小宇宙を、様々な生き物と共に紹介する。

5分			
幼	低	中	高
秋 生き物 食物連鎖			



おなら

長新太／さく
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-0943-9

ライオンのおならはくさいけど、ゾウのおならはあまりくさくない。おならは食べた物の種類によってにおいが違う。嫌われがちだが、体の健康を保つために重要な働きをしているおならを、わかりやすく解説する。

4分			
幼	低	中	高
生き物 からだ			

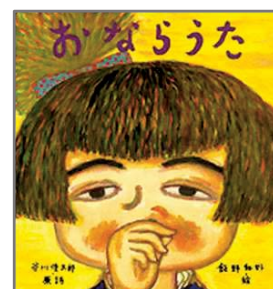


おならうた

谷川俊太郎／原詩 飯野和好／絵
絵本館 32p 21cm
978-4-87110-158-5

「いもくって ぶ」「くりくって ぼ」ページをめくる度に、色々な場所で、色々な人が、色々な音のおならをする。谷川俊太郎の詩を元にしたリズムのある文に、思わず笑ってしまう愉快的絵が添えられた、丸ごと一冊おならの本。

3分			
幼	低	中	高
ことば・リズム			



およぐ

なかのひろたか／さく
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-0869-2

動物も人間も、体が水に浮くので、泳ぐことができる。水に顔をつけるのが苦手なら、まずは、みんなで水のかけあいっこ。水に慣れたら、今度は息を吐く練習だ。泳ぐ方法を水と触れ合うところからやさしく説明した絵本。

5 分			
幼	低	中	高
夏 水			



かぞえうたのほん

岸田衿子／作 スズキコージ／え
福音館書店 32p 29cm
978-4-8340-1043-5

1 から 10 までをユニークなテーマで数えて歌う本。「へんなひとかぞえうた」や「ひのたまかぞえうた」など楽しい数え歌が 6 つ入っている。導入や息抜きに一つだけ読むという方法もある。

6 分			
幼	低	中	高
数 ことば・リズム			



かたつむり

夏目義一／作 三枝博幸／監修
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1920-9

かたつむりは湿った場所でないと生きていけない。日が照っている時は日陰でじっとして、雨の日になると本格的に活動を始める。かたつむりの生態をかたつむりの目線で紹介する本。

9 分			
幼	低	中	高
生き物 夏			



かぶとむしはどこ？

松岡達英／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1022-0

硬いよろいをまとった強そうなかぶとむしも、生まれた時は白くて弱い幼虫。土の中で腐葉土を食べながらゆっくりとさなぎ、成虫へと変化して成長していく。かぶとむしの一生がわかる本。

7 分			
幼	低	中	高
生き物(虫) 夏			



がぶりもぐもぐ！

ミック・マニングとブリタ・グランストローム／作
藤田千枝／訳
岩波書店 32p [22cm] 978-4-00-116208-0

ある晩、土の中から頭を持ち上げた小さな芽。そこへイモムシがやって来て、小さな芽を食べた。すると今度はキリギリスがやって来て、イモムシを食べ…。自然界で繰り広げられる食物連鎖が大きな絵でわかりやすく描かれている。

8 分			
幼	低	中	高
生き物 食物連鎖			



くさる

なかのひろたか／さく
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-0672-8

ゴミや食べ物は放っておくと腐ってしまう。腐った物を土の中に入れると、それを小さな虫や微生物が食べ、その排せつ物を草や木が栄養にして芽を出す。腐ることから始まる生命の循環を母と子の会話を通してわかりやすく伝える。

5 分			
幼	低	中	高
食物連鎖			



くものいえ

得田之久／さく
童心社 32p 21cm
978-4-494-00302-0

夏の夜、1匹のくもが木の枝にぶら下がると、おしりから糸を出し、巣を作り始めた。糸の上を行ったり来たり、三角に糸を張ったり、ぐるぐる糸を張ったり…。くもの巣ができるまでのいくつかの工程を知ることができる絵本。

4 分			
幼	低	中	高
生き物 夏			

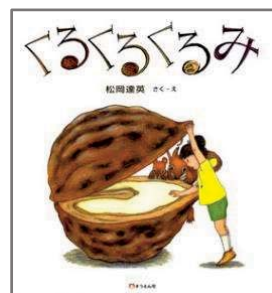


くるくるくるみ

松岡達英／さく・え
そうえん社 28p 25cm
978-4-88264-237-4

田舎に遊びに行ったゆうかは、おばあちゃんの料理をきっかけにくるみに興味を持ち、おじいちゃんから、くるみについて教えてもらう。実はどうやってなる？ どう料理する？ など、意外に知られていないくるみの秘密を紹介した絵本。

11 分			
幼	低	中	高
植物(木) 食べ物 料理			



こいぬがうまれるよ

写真絵本

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／写真
つばいいくみ／訳
福音館書店 40p 26cm 978-4-8340-0912-5

犬の出産の様子や産まれてから2か月までの子犬の成長について、モノクロの写真で、時間を追って紹介した写真絵本。犬の誕生を心待ちにしている女の子の目線で描かれているのでわかりやすく、親しみやすい。

6分			
幼	低	中	高
生き物			

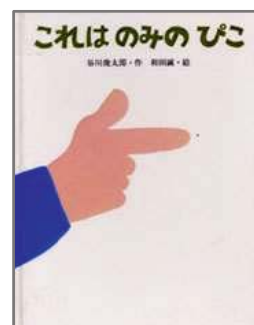


これはのみのぴこ

谷川俊太郎／作 和田誠／絵
サンリード [32p] [29cm]
978-4-914985-01-1

「これは のみの ぴこ」、「これは のみの ぴこの すんでいる ねこの ごえもん」…。ページをめくるとに文が積み重なっていく言葉遊び絵本。聞いている子どもたちからも段々と声が上がってくる。

5分			
幼	低	中	高
ことば・リズム			



こんにちはワニ

中川ひろたか／文 村上康成／絵
PHP 研究所 24p 21cm
978-4-569-68203-7

「こんにちは ワニ」、「いただき マスク」、「いないいない ばあちゃん」。語尾を変えたり、付け足したりした楽しい言葉がたくさん。添えられた絵も思わず笑いを誘う。みんなで笑って楽しめる言葉遊び絵本。

2分			
幼	低	中	高
ことば・リズム			



さくら

長谷川摂子／文 矢間芳子／絵・構成
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2495-1

春になると美しいピンクの花を咲かせる桜、ソメイヨシノ。花を咲かせてから、花を散らし、緑の葉を茂らせ、葉を落とし、再び花を咲かせる。桜の一年間を、写実的な絵と、桜が優しく語りかけてくるような文章で伝える。

5分			
幼	低	中	高
春 植物(木・花)			



さとうとしお

写真絵本

ひさかたチャイルド 28p 21cm
978-4-86549-022-0

砂糖と塩、見た目はどちらも白い粉。でも、なめてみると見た目は似てても全然違う。他にも火にかけてみると、お湯にいれてみると…。食べるとどっちも美味しくて体にいい砂糖と塩について比較しながら解説した写真絵本。

6分			
幼	低	中	高
食べ物			



ざりがに

吉崎正巳／ぶん・え 須甲鉄也／監修
福音館書店 24p 26cm
978-4-8340-0472-4

水の中で大きなはさみを振り上げるザリガニ。いざとなれば、そのはさみもトカゲの尻尾のように残して逃げていき、取れたはさみは脱皮するとまた生えてくる。1匹のザリガニの暮らしを追い、その生態を紹介する。

4分			
幼	低	中	高
生き物			



しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ／さく
ボフダン・ブテンコ／え うちだりさこ／やく
福音館書店 24p 20cm 978-4-8340-0208-9

ある日、ひとしずくの水がバケツから飛び出して旅に出た。しずくは蒸発して空に昇ったり、雨になって雲から落ちたり、洗濯機に入ったり…。しずくの冒険を追ううちに水の状態変化や循環について知ることができる絵本。

9分			
幼	低	中	高
天気 水			



しっぽのはたらき

川田健／ぶん 薮内正幸／え 今泉吉典／監修
福音館書店 24p 26cm
978-4-8340-0315-4

犬は尻尾で自分の気持ちをあらわし、牛は尻尾で体にとまるハエやアブを追いかける。暮らし方によって違う動物の尻尾の働きを紹介した絵本。尻尾の絵を見て、どの動物かを考える、クイズのような楽しみ方もできる。

6分			
幼	低	中	高
生き物			



しまふくろう

写真絵本

山本純郎・神沢利子／ぶん 山本純郎／写真
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-1103-6

ふくろうの仲間でも一番大きいしまふくろうは、北海道の深い森の中をゆったりと飛んでいる。辛抱強く待ち構え、獲物を捕まえる姿や夫婦で子育てをする姿など、しまふくろうの生態を臨場感のある写真で紹介した絵本。

6分			
幼	低	中	高
生き物（鳥）			



じめんのうえとじめんのした

アーマ・E・ウェバー／ぶん・え 藤枝滯子／やく
福音館書店 32p 22cm
978-4-8340-0129-7

ポプラ、にんじん、とうもろこし…、植物の地面の上と、地面の下の様子、葉や根の役割を断面図のような絵でわかりやすく解説する。植物と動物、自然界の生き物のつながりについても教えてくれる絵本。

4分			
幼	低	中	高
植物（草） 食物連鎖			



しもばしら

写真絵本

細島雅代／写真 伊地知英信／文
岩崎書店 32p 22cm
978-4-265-04369-9

寒い冬の朝、地面に立つしもばしら。しもばしらってなんだろう？ どうやってできるの？ どんな場所にできるの？ しもばしらについての様々な疑問に、たくさんの写真を使って、一つ一つわかりやすく答えてくれる写真絵本。

5分			
幼	低	中	高
冬 天気 水			

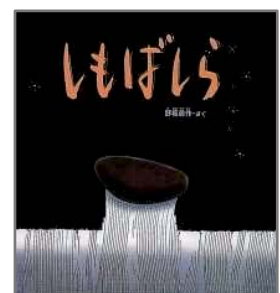


しもばしら

野坂勇作／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2076-2

冬の寒い朝、は一ちゃんが畑に行くと、足元から不思議な音が聞こえてきた。音の正体は、は一ちゃんが踏んだしもばしらだった。しもばしらのできていく様子、色々な形のしもばしらの他、冷蔵庫でしもばしらを作る方法も紹介する。

7分			
幼	低	中	高
冬 天気 水			

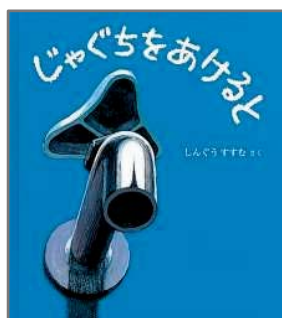


じゃぐちをあけると

しんぐうすすむ／さく
福音館書店 24p 23cm
978-4-8340-2401-2

蛇口を開けると水が出る、「さわるとチュッ!」、「たたくとパシャー」。では、コップに当てると? スプーンを入れると? 水の形の変化に焦点を当てた絵本。蛇口をひねればすぐに実践できるのも楽しい。

2分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 水			



しょうたとなつとう

写真絵本

星川ひろ子・星川治雄／写真・文
小泉武夫／原案・監修
ポプラ社 36p 21cm 978-4-591-07887-7

しょうたは、農家のおじいちゃんと畑に大豆をまいた。大豆は大きく育ち、さやをゆでると枝豆になった。でも、まだとっておきの変身が残っていた。それはおじいちゃんを作る納豆だった。大豆から納豆ができるまでを描いた写真絵本。

10分			
幼	低	中	高
食べ物(豆)			



同じじゃないの? ①

『しもばしら』

11 ページに並ぶ同じ題名の2冊の本。読み比べてみると、様々な違いがあることがわかります。一方は自由な構図の絵で知識を伝え、もう一方は臨場感のある写真で伝えていること。一方はお話を通して伝え、もう一方は写真を解説する形で伝えていること…。

同じテーマの本でも伝え方や取り上げ方は様々です。ちしき絵本を選ぶ時は、同じテーマの本を見比べて、自分のイメージにぴったりの本を選べるといいですね。比較することで、本の情報が正しいかの確認にもなるので一石二鳥ですよ。

スプーンぼしとおっぱいぼし

八板康磨／写真と文 杉浦範茂／絵と構成
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-1285-9

北の夜空に浮かぶスプーンの形をした北斗七星とおっぱいの形をしたカシオペア座。北極星を挟んで並ぶ二つの星座について、写真と絵を組み合わせでわかりやすく伝える。読んだ後に夜空を眺めたくなる絵本。

3分			
幼	低	中	高
宇宙 いろ・かたち			



すみれとあり

矢間芳子／さく 森田竜義／監修
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1817-2

ありとすみれは助け合って生きている。すみれが近くにしか飛ばせなかった種をありが遠くまで運んでくれる。その代わりに、ありは種についているごちそうをいただく。ありとすみれの共生関係を平易な文章と写実的な絵で伝える。

5 分			
幼	低	中	高
生き物(虫)		春	
		植物(花)	



ぞうきばやしのすもうたいかい

広野多珂子／作 廣野研一／絵
福音館書店 24p 22cm
978-4-8340-8254-8

雑木林の切り株で行われる虫たちの相撲大会。たくさんの虫たちが得意技を使って、いざ勝負。ダンゴムシ対カマキリ、カブトムシ対クワガタムシなど、虫たちの真剣勝負が臨場感のある絵で描かれている。

3 分			
幼	低	中	高
生き物(虫)		夏	



だいずえだまめまめもやし

こうやすすむ／文 なかじまむつこ／絵
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1955-1

大豆を水につけて芽が出たものが豆もやし。大豆を焔にまいて緑のさやのうちに食べるのが枝豆。よく見る食材が実は同じ植物であることを、ゆかいな物語仕立てで紹介する。

6 分			
幼	低	中	高
食べ物(豆)		料理	



ダンゴムシみつけたよ

写真絵本

皆越ようせい／写真・文
ポプラ社 35p 21cm
978-4-591-07298-1

だんごのように丸まったダンゴムシ。眠る時や、アリなど敵におそわれた時は、かたい殻で身を守って丸くなる。身近にいるダンゴムシのあまり知られていない生態を迫力ある写真で紹介した本。

6 分			
幼	低	中	高
生き物			



たんぽぽ

甲斐信枝／作・絵
金の星社 38p 26cm
978-4-323-00282-8

春、タンポポたちが花を咲かせた。朝、日の光が当たると花を開き、夕方になるとつぼんで眠る。タンポポの暮らしを細部まで描き、綿毛が飛んでいく瞬間は迫力ある観音開きのページで表現する。

5分			
幼	低	中	高
春 植物(花)			



たんぽぽ

平山和子／ぶん・え 北村四郎／監修
福音館書店 24p 26cm
978-4-8340-0470-0

タンポポをよく観察してみよう。根は驚くほど長く、花もよく見ると小さな花が集まっていて、一つの花に240も集まっているものもある。タンポポの生態を掘り下げ、写実的な絵で紹介する。

4分			
幼	低	中	高
春 植物(花)			



同じじゃないの？ ②



どちらもタンポポの生態を描いた絵本ですが、作者の視点、表現はそれぞれに異なります。

甲斐信枝は、タンポポを擬人化し、その一生を物語にして叙情的に表現します。タンポポの表情は細部にわたり生き生きと描かれ、子どもたちの理解を助けます。

平山和子は、タンポポを科学的な視点で捉え、図や絵を用いながら分かりやすく説明していきます。驚かされる事実も多く、子どもたちを引きつけます。

印象の異なる絵本ですが、どちらの本からも、タンポポの力強さが伝わってきますね。

チョコレートだいすき

写真絵本

ひさかたチャイルド 28p 21cm
978-4-89325-071-1

チョコレートの材料は、南の国で育つカカオの木の実。苦いカカオの実が、どんなふうにして甘くておいしいチョコレートになっていくのだろう。みんなが大好きなチョコレートの秘密を紹介した写真絵本。

5分			
幼	低	中	高
食べ物(お菓子) 料理			



月人石

写真絵本

乾千恵／書 谷川俊太郎／文

川島敏生／写真

福音館書店 30p 20cm 978-4-8340-2028-1

扉、猫、風、音、馬…。ページいっぱいには太い筆で書かれた、漢字一文字の「書」。向かい合うページには、書に合わせた写真と言葉が一つずつ。書、言葉、写真が合わさった世界が、自由な想像を呼び起こしてくれる本。

2分

幼 低 中 高

いろ・かたち
ことば・リズム



つくし

甲斐信枝／さく

福音館書店 28p 26cm

978-4-8340-1416-7

春の野原にたくさん生えたツクシはスギナの子。地上では別々に生えていても、じつは土の中でつながりあっている。ツクシはどんな1年を送っているのだろうか。地面の上と下での成長を描く。

6分

幼 低 中 高

春 植物(草)
食べ物



つららがぽーっとん

小野寺悦子／ぶん 藤枝つう／え

福音館書店 24p 21cm

978-4-8340-2394-7

窓の外には大きなつらら。「はるはちいかどうかおしえてよ」と女の子が尋ねると、「ぽーっとん」とつららのしずくが返事をする。春の訪れを、つららが溶けていく速さの変化や、しずくが奏でる水音で表現した絵本。

3分

幼 低 中 高

冬 水



てのひらかいじゅう

写真絵本

松橋利光／しゃしんとぶん

そうえん社 28p 23cm

978-4-88264-450-7

カナヘビ、トカゲ、ヤモリ、どれも手の平に乗る大きさだが、近くで見るとまるでかいじゅう。さらに目や口、足、うろこにズームすると、どんなふうに見えるだろうか。身近にいる生き物を迫力ある写真で紹介する。

4分

幼 低 中 高

生き物



トマトのひみつ

写真絵本

山口進／文・写真
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1542-3

トマト畑に巣をはり、虫を捕まえようと待ち伏せしている1匹のクモ。でも、虫は全然やってこない。トマトには、虫を寄せ付けない不思議な力があるのだ。おいしい実を作るための秘密の力に迫る写真絵本。

5分			
幼	低	中	高
夏 食べ物(野菜)			



とりになったきょうりゅうのはなし

大島英太郎／さく
福音館書店 32p 26cm
978-4-8340-2554-5

大昔、小さな恐竜の中には、進化の過程で羽毛や翼をもち、大空を飛び回るものがいた。大きな恐竜が絶滅した後も、その子孫は生き延び、今も「鳥」という名に姿を変えて、私たちの身近にいる。恐竜と鳥との関係を、迫力いっぱいの絵で紹介する。

6分			
幼	低	中	高
生き物(鳥)			



どろだんご

たなかよしゆき／ぶん のさかゆうさく／え
福音館書店 24p 22cm
978-4-8340-1834-9

子どもたちが大好きなどろ遊び。ぐにぐに、ぺたぺた遊んだあとは、おだんごを作ろう。乾いた土をまぶして、ぎゅっぎゅっにぎり、そうとなでると、だんだん光ってくる。どろだんごができたなら、固さ比べや転がし遊び。どろだんご作りを楽しむ絵本。

3分			
幼	低	中	高
いろ・かたち			



どんぐり

こうやすすむ／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-0773-2

秋になると、りすやねずみは、冬に備えてどんぐりを地面にうめる。食べ忘れられたどんぐりのうち、浅いところにうめたものから芽が出て、やがて木になっていく。動物と植物の関わり合いをわかりやすく描く。

7分			
幼	低	中	高
生き物 秋 植物(木)			

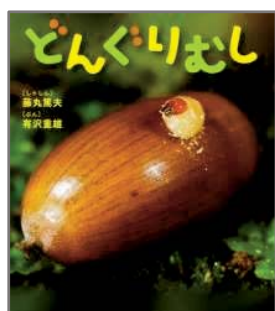


どんぐりむし

写真絵本

藤丸篤夫／しゃしん 有沢重雄／ぶん
 そうえん社 28p 23cm
 978-4-88264-453-8

秋に拾ったどんぐりから小さい虫が出てきた。どんぐりの中身を食べて育つシギゾウムシだ。外に出た後は土にもぐってさなぎになり、やがて成虫になる。長い口、名前の由来などシギゾウムシの秘密に迫る。



5 分			
幼	低	中	高
生き物(虫)		秋	
		植物(木)	

中をそうぞうしてみよ

写真絵本

佐藤雅彦＋ユーフラテス／作
 福音館書店 30p 26cm
 978-4-8340-2697-9

椅子やボールペンを透かして見ると、中はどうなっているだろうか。椅子にはたくさんのくぎが使われていて、ボールペンの先には小さなボールがついている。色々なものをX線で透視した写真絵本。

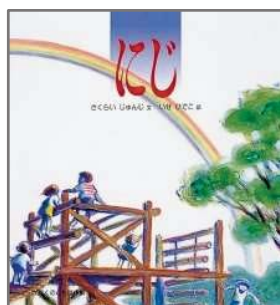


4 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 参加型			

にじ

さくらいじゅんじ／文 いせひでこ／絵
 福音館書店 28p 26cm
 978-4-8340-1543-0

雨上がりのきれいな虹。虹はどんな時に出て、虹の真横や裏側からはどう見えるのだろうか。公園の大きな噴水など、いろいろな場所にできた虹を見てみよう。虹の出る仕組みが分かってくる。



8 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち		夏	
		天気 水	

にんじゃあまがえる

写真絵本

ひさかたチャイルド 28p 21cm
 978-4-89325-061-2

アマガエルは忍者のようなすごい術をたくさん持っている。周囲に合わせて体の色や模様を変えることができるし、ジャンプも得意。指先の吸盤、まぶたにも秘密がある。アマガエルの驚きの能力を紹介する。



7 分			
幼	低	中	高
生き物		夏	

歯がぬけた

中川ひろたか／作 大島妙子／絵
PHP 研究所 24p 26cm
978-4-569-68335-5

ぐらぐらしていた歯がついに抜けた。この後生えてくる大人の歯はもう生え変わらないから、大事にしないといけない。抜けた歯はどうしよう？歯にまつわる話を、男の子のユニークな発想で楽しめる本。

6 分			
幼	低	中	高
からだ			



ハートのはっぱ かたばみ

多田多恵子／ぶん 広野多珂子／え
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-8156-5

3つのハート型の葉っぱが特徴のカタバミ。身近な場所で見かけるのに、その生態はあまり知られていない。かたばみで10円玉をみがくと、ぴかぴかになるのはなぜ？カタバミを見つけて試してみよう。

10 分			
幼	低	中	高
春 植物(草) 実演			



はじめてのかり

吉田遠志／絵と文
リブリオ出版 [32p] [22cm]
978-4-89784-880-8

アフリカの草原。3匹の若いライオンは、自分たちだけで初めての狩りに出かけた。3匹はシマウマやヌーを狙うが、逃げられてしまう。野生動物の世界を、ドキュメンタリータッチで描いた絵本。

11 分			
幼	低	中	高
生き物			

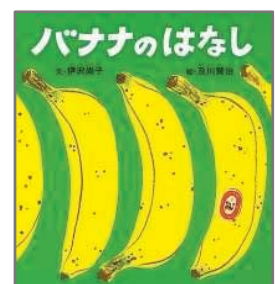
No Print

バナナのはなし

伊沢尚子／文 及川賢治／絵
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2765-5

バナナは暑い所で育つから、寒い所は苦手。冷蔵庫に入れると、弱って皮が黒くなってしまう。バナナはどうやって育つのだろう。皮をむくと出てくる白い筋の大切な役割は？バナナの秘密に迫る。

7 分			
幼	低	中	高
食べ物(果物) 実演			



はなのあなのはなし

やぎゅうげんいちろう／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-0891-3

人の鼻の穴は2つ。イルカは1つ。
アザラシやカバは、鼻の穴を開けたり
閉じたりできる。鼻の穴の大事な
役目は息をすること。穴の中ではど
んなことが起こっているのだろう。
鼻の穴のいろいろな話。

9分			
幼	低	中	高
顔 からだ			



ひがんばんな

甲斐信枝／さく
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-0867-8

ヒガンバナは土の中の球根から茎
を伸ばし、葉も出さない状態でいき
なり花を咲かせ、咲き終わった後に
葉を茂らせる不思議な植物。炎のよ
うな花を秋に咲かせるヒガンバナ
の生態に迫る。

6分			
幼	低	中	高
秋 植物(花)			



ピーナッツなんきんまめらっかせい

こうやすすむ／文 中島睦子／絵
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1213-2

生の落花生を地面に埋めると、地上
で花が咲いたあと、自ら地面の中にも
ぐって実をつける。採れた落花生
を加工すると南京豆やピーナッツ
になる。落花生の不思議な生態を、
わかりやすい絵でじっくり解き明
かす。

7分			
幼	低	中	高
食べ物(豆)			



びっくりまつぼっくり

多田多恵子／ぶん 堀川理万子／え
福音館書店 24p 23cm
978-4-8340-2581-1

まつぼっくりには不思議がいっぱ
い。ごつごつした形に、薄い羽のよ
うな種。水にぬれると縮むのに、乾
くと元の姿に復活する。まつぼっ
くりの生態を生かした瓶詰まつぼっ
くりを作って、読み聞かせのあとで
見せてもよい。

4分			
幼	低	中	高
秋 植物(木) 実演			



ふきのとう

甲斐信枝／さく 森田竜義／監修
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1963-6

春の訪れを知らせるふきのとうは、ふきの花。ふきは、命をつなげるために、種を作って綿毛を飛ばし、土の中では新しい根をうねうねと伸ばしていく。鋭い観察眼で描かれた、力強い生命力にあふれる絵本。



9 分			
幼	低	中	高
春 植物(花)			

ふしぎなナイフ

中村牧江・林健造／さく 福田隆義／え
福音館書店 28p 20cm
978-4-8340-1407-5

何の変哲もないナイフが一本。硬いはずのナイフがページをめくるたびに、曲がる、ねじれる、割れる、溶ける…。現実にはあり得ない光景の連続に、子どもたちも思わず息を飲む。



2 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち			

ふゆめがっしょうだん

写真絵本

富成忠夫・茂木透／写真 長新太／文
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1020-6

寒い冬、木の芽をよく見てみると、葉が落ちたあとが、顔に見えてくる。そこにはウサギの顔や、帽子をかぶった子どもの顔がある。冬芽たちのユーモアあふれる表情に、短い言葉が添えられた、春待つ心を浮き立たせる写真絵本。

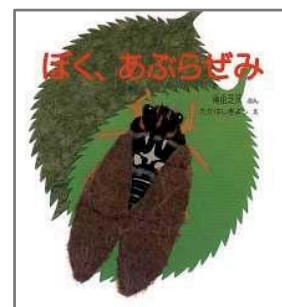


3 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 顔 冬 植物(木)			

ぼく、あぶらぜみ

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2341-1

セミの幼虫は5年もの間、土の中で木の根から樹液を吸って成長する。でも、地上に出てきてからの命は2週間。鳴くのはオスだけ。セミの成長を暖かな貼り絵で描き出し、小さな体に秘められた生命力を紹介する。



7 分			
幼	低	中	高
生き物(虫) 夏			

ぼく、だんごむし

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2083-0

だんごむしはとても不思議な生き物。コンクリートや石を食べて四角いうちをしたり、昆虫ではなく、エビやカニの仲間に分類されたりする。敵から身を守る方法や脱皮の仕方、飼育方法なども紹介する。

8分			
幼	低	中	高
生き物			

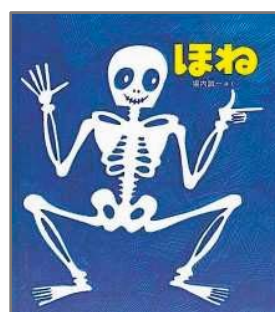


ほね

堀内誠一／さく
福音館書店 24p 25cm
978-4-8340-0864-7

魚を食べると骨が残る。でも、タコには骨がない。もし人間に骨がなかったら、どうなるんだろう。骨の仕組みや働きを、シンプルではっきりとした絵と、分かりやすい言葉で解説する。

4分			
幼	低	中	高
からだ			



まちにはいろんなかおがいて

写真絵本

佐々木マキ／文・写真
福音館書店 28p 27cm
978-4-8340-8017-9

信号機の押しボタン。じっと見つめていると、だんだん顔に見えてくる。見慣れた家の壁やマンホールのふたも、よく見てみれば、笑顔に泣き顔、困り顔。町で見つけた愉快的“かお”を、みんなでじっくり眺めてみよう。

4分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 顔			



まちのコウモリ

写真絵本

中川雄三／写真・文
ポプラ社 35p 21cm
978-4-591-09774-8

空を飛べる唯一のけもの、コウモリ。日が暮れると、建物のすき間の寝ぐらから飛び出し、大好物の羽虫を求めて飛び回る。意外にも身近に生息するアブラコウモリの暮らしや子育てを紹介する写真絵本。

6分			
幼	低	中	高
生き物			



まほうのコップ

写真絵本

藤田千枝／原案 川島敏生／写真

長谷川摂子／文

福音館書店 24p 23cm 978-4-8340-2747-1

ガラスのコップに水を入れたら、まほうのコップのできあがり。コップの後ろに物を置いて、前からのぞいてみよう。角度や物の置き方によって、不思議な世界が現れる。読み聞かせの後に実演してみるのもおすすめ。

3分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 水 実演			



まるをさがして

大月ヒロ子／構成・文

福音館書店 32p 26cm

978-4-8340-0554-2

大きなまる、カラフルなまる、重なるまる…。まるは単純な形。でも、大きさや色、組み合わせ方や筆使いによって、まったく違った表情を見せてくれる。世界の芸術家が20世紀に描いたいろいろな“まる”を堪能できるアートな絵本。

3分			
幼	低	中	高
いろ・かたち			



みかん

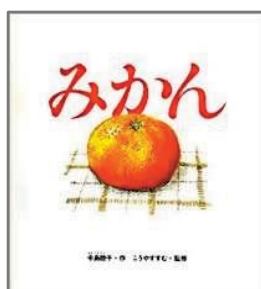
中島睦子／作 こうやすすむ／監修

福音館書店 28p 26cm

978-4-8340-1965-0

みかんを切って、中を観察してみよう。へたの下の方や、袋についている白い筋は、栄養の通り道。みかんの中には、おいしくなるための様々な秘密が隠されている。そのほか、みかんを使った楽しい遊びも紹介。

7分			
幼	低	中	高
冬 食べ物(果物)			



みかんのひみつ

写真絵本

ひさかたチャイルド 32p 21cm

978-4-89325-068-1

みかんのひと房には、たくさんの粒がつまっている。粒の中には、甘酸っぱいジュースがいっぱい。おいしいみかんがどのように育つのか、成長の様子を写真で紹介。みかんをむいているような気分で楽しめる仕掛けページもあり。

5分			
幼	低	中	高
冬 食べ物(果物)			



みずたまレンズ

写真絵本

今森光彦／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-2326-8

雨にぬれたクモの巣や葉っぱには、水玉がいっぱい。虫になったつもりで水玉をのぞいてみると、水玉がレンズになって、景色を逆さまに映し出したり大きく見せたり。普段は気付かない小さな世界を美しい写真で描き出す。

4 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 天気 水			



みんなうんち

五味太郎／さく
福音館書店 28p 25cm
978-4-8340-0848-7

大きいぞうは大きいうんち。小さいねずみは小さいうんち。生きものによって、うんちの大きさや形、うんちの仕方はいろいろ。「いきものはたべるから みんな うんちを するんだね」と教えてくれる絵本。

2 分			
幼	低	中	高
生き物 からだ			



むしをたべるくさ

写真絵本

渡邊弘晴／写真 伊地知英信／文
ポプラ社 35p 21cm
978-4-591-09500-3

ハエトリグサの葉にやってきたワラジムシ。突然2枚の葉が閉じ、挟まれ、もう動けない。養分が少ない土地では、虫は植物にとって大切な栄養源となる。食虫植物の不思議な仕組みを迫力ある写真で紹介する。

7 分			
幼	低	中	高
生き物(虫) 植物(草)			



やさいのおなか

きうちかつ／さく・え
福音館書店 48p 19cm
978-4-8340-1438-9

11種類の野菜の断面のシルエット。「これなあに？」——ページをめくると、カラーで描かれた野菜の全貌が登場する。中には、大人でも考え込んでしまう難問も…。クイズ形式で楽しみながら、身近な野菜に興味を持てる絵本。

6 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 参加型 食べ物(野菜) 実演			

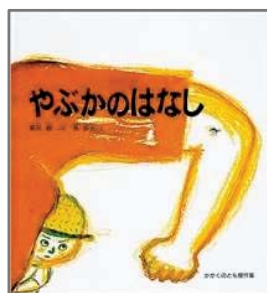


やぶかのはなし

栗原毅／ぶん 長新太／え
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-0211-9

刺されるとかゆくなる、やっかいものの蚊。実は、蚊の中でも血を吸うのはメスだけ。良い卵を産むため、人間や動物の血を吸って、栄養にしているのだ。1匹のメスの蚊が、血を吸ってから卵を産むまでを追う。

7 分			
幼	低	中	高
生き物(虫) 夏			



雪の写真家ベントレー

ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン／作
メアリー・アゼアリアン／絵 千葉茂樹／訳
BL 出版 32p 25cm 978-4-89238-752-4

アメリカの豪雪地帯に生まれ、小さい頃から雪が好きだったベントレー。彼はひたむきに雪を追いつけ、ついには結晶の写真の撮影に成功した。世界中の人々に雪の美しさや結晶の魅力を伝えたベントレーの伝記絵本。

12 分			
幼	低	中	高
冬 天気			



よもぎだんご

さとうわきこ／さく
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-0825-8

春の野原には、食べられる草がいっぱい。ばばあちゃんが、よもぎだんごのほか、なずなやつくしを使った料理の作り方を教えてくれる。野草の採り方や、よもぎの意外な使い方もある本。

6 分			
幼	低	中	高
春 植物(草) 料理 食べ物(お菓子)			

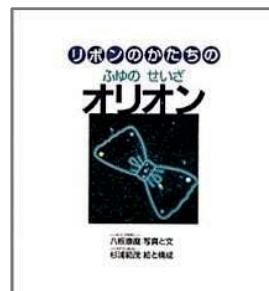


リボンのかたちのふゆのせいざオリオン

八板康磨／写真と文 杉浦範茂／絵と構成
福音館書店 28p 26cm
978-4-8340-1068-8

冬の夜空を見上げてみると、リボンの形の星座が輝いている。オリオン座だ。オリオン座のほか、オリオン大星雲や天の川など、ページいっぱいに広がる星空を楽しめる写真絵本。オリオン座が見える季節や時刻も紹介されている。

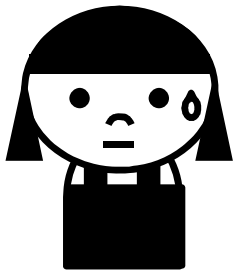
3 分			
幼	低	中	高
いろ・かたち 宇宙 冬			



こんなことありました💧

～ 図書館員の体験談 ～

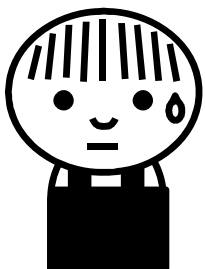
しっかり準備していたはずなのに、本番でまさかの出来事が。図書館員がやってしまった失敗の数々を恥ずかしながら、ご紹介いたします。皆さんは決してマネしないでください！



H 図書館
Kさん

文章が見えない…

通常の読書のように目の前に絵本を置いて読む練習をして、いざ本番。読み始めると、文章が背景の絵にまぎれて、見えない！たどたどしい読み方になってしまいました。
練習の時から本番と同じような姿勢で本を持って、確認しておけばよかった…。

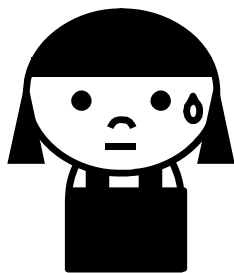


H 図書館
Aさん

子どもが話しかけてきて

読み聞かせをしているときに、一人の子どもが話しかけてきました。それに応えていると他の子どもたちも次々と話しかけてきて、收拾がつかず、お話が途中で途切れてしまいました。

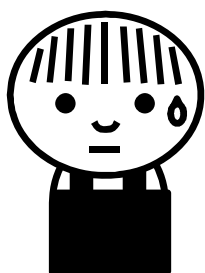
その場は目線やうなずきで答えて、読み終わった後に子ども達に応えてあげればよかった…。



M 図書館
M さん

想定より小さい子が…

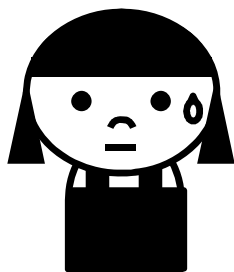
プログラムを決めて、さあ本番。時間になると、目の前には想定していたより小さい子どもたちが…。あわてて本棚から絵本を抜いてきてプログラムを変更することに。
そういう状況も想定して、事前に差し替え用のプログラムを用意しておけばよかった…。



Y 図書館
N さん

絵本に光が反射して…

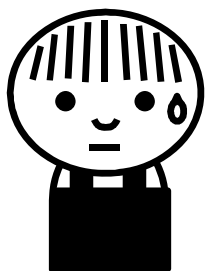
写真絵本の読み聞かせを始めようとすると、同僚の職員に止められました。聞いてみると、絵本に光が反射して本が全然見えなかったとのこと。
写真絵本は光が反射しやすいので、本の角度を下向きにしたり、事前に、照明位置を確認すればよかった…。



I 図書館
E さん

読んでいるうちに涙が…

絵本を読んでいるうちに、登場人物に感情移入してしまい、涙声になってしまいました。
本を選んだり、下読みをするときに、ある程度わかることなので、選ぶ段階で他の本に変えればよかった。



O 図書館
Y さん

絵本が膨らんできて…

新しい本で読み聞かせをしたが、読むうちに、のど（ページをとじてある部分）が膨らんできてしまい、両脇で聞いている子どもたちからは、本が見づらくなってしまった。
もっとしっかり開きグセをつけるか、すでにしっかり開きグセがついている本を選べばよかった…。



読み聞かせ指南

子どもに本を読み聞かせること、それは本の世界の楽しさ、読書の楽しさを伝えるということです。そのためには、本を引き立てる、本が主役という意識を持つことが大事です。ここでは、本を引き立てて読むにはどのようなことをすればよいか、そのコツについて順序だてて紐解いていきましょう。

おはなし会当日を迎える前に…

★本が壊れていないか確認

※本にセロハンテープ跡、破れ等があると目立ち、子どもの気はそちらに行ってしまう。

★開きぐせを作る

※本には閉じくせがついており、そのまま読むと、ページがめくりにくかったり、うまく開かなかったりします。本の外側から真ん中へゆっくりと押していき、開きやすいようにしましょう。

★持ち方

※本がぐらつかず安定し、絵をジャマしないような持ち方を探しましょう。読む前に持ち方、持つ位置を決めたら、読んでいる最中で持ち替えてはいけません。

★下読みをする

※背景で文字が読みにくい、途中で絵の向きが変わる本がありますので事前に確認しましょう。

★複数人で練習する

※複数人で読み聞かせをする場合は、お互い聞きあうのが効果的です。

さあ、いよいよ本番!!

★読む前に

・子どもの目線の確認

※子どもがどういう状態にいるのか（床に座っているのか、椅子に座っているのか）確認し、読む体勢を決めましょう。また、端にいる子どもでも絵が見える位置に身をおくのも大切です。

・絵本の角度

※写真絵本など光を反射する本がありますので、角度は少し下向きを意識しましょう。

★読んでいるとき

・読み始め

※表紙はタイトル、著者名（監修は除く）は全て読みましょう。中表紙はタイトルのみ読みましょう。

・読み方

※一番後ろにいる子どもに届く声で読みましょう。また、過剰な声色、演技は控え、本の世界をそのまま伝える努力をしてください。

・読み終わり

※白紙のページ、裏表紙もしっかり見せ、表紙に戻ってもう一度タイトルを読みます。絵が表紙と裏表紙で繋がっている場合は表紙を見せた後、広げて見せます。

プログラム とりあえず、1年分

すぐに使えるプログラム例を、季節ごとに紹介します。

- ※ 本書または1冊目の「ボランティア向け読み聞かせブックリスト」で紹介した本でプログラムを組みました。
- ※ 時間はどれも、2冊で10分から15分程度を想定しています。
- ※ 対象は目安です。また、紹介している季節以外の時期に読んでも構いません。
- ※ 読み聞かせに慣れてきたら、自分自身でプログラム作りにチャレンジしてみましょう。

★ はる ★

幼児

『やさいのおなか』 + 『サンドイッチサンドイッチ』
★野菜クイズで楽しんだあとは、おいしいサンドイッチを作ろう！

『こいぬがうまれるよ』 + 『おおきくなるっていうことは』
★生きるって素敵だね。成長するって、うれしいね。

低
学
年

『つくし』 + 『ぼくのかえりみち』
★道ばたには、不思議がいっぱい！

『たんぽぽ』 + 『おなべおなべにえたかな』
★春にぴったりのたんぽぽをテーマに。

中
学
年

『ウラパン・オコサ』 + 『とけいのあおくん』
★参加型の数遊びのあとは、新生活にぴったりの時間のお話。

『さくら』 + 『としょかんライオン』
★桜舞う春。ライオンの優しさに、心もあたたかくなる。

高
学
年

『月人石』 + 『トラのじゅうたんになりたかったトラ』
★自由な想像の世界と、トラのユーモラスな話を組み合わせて。



幼児

『およぐ』 + 『トマトさん』

★人間も動物も野菜も、じゃぶじゃぶいい気持ち！

『じゃぐちをあけると』 + 『せんたくかあちゃん』

★思わずさわりたいくなる水しぶき。洗濯も楽しそう。

『ほね』 + 『おじさんのかさ』

★骨つながり!? シンプルな科学絵本と、リズムが楽しいお話を組み合わせて。

低学年

『ぞうきばやしのすもうたいかい』 + 『ありとすいか』

★虫たちも、がんばっています。

『トマトのひみつ』 + 『なつのいちにち』

★つやつや輝くトマトと、汗と夕立に濡れる夏の日。

『ぼく、あぶらぜみ』 + 『とべバッタ』

★一生懸命生きること。

中学年

『みずたまレンズ』 + 『たろうめいじんのたからもの』

★水の中をのぞいてみると…?

『歯がぬけた』 + 『歯いしゃのチュー先生』

★大切な歯をテーマに、ユーモラスな切り口で読み聞かせ。

『あしたのてんきははれ? くもり? あめ?』 + 『たいふうがくる』

★自然の力には、誰も敵わない。

高学年

『ピーナッツなんきんまめらっかせい』 + 『ひみつのカレーライス』

★不思議な生態の落花生。カレーライスも、意外な場所から生えてくる!?

『くものいえ』 + 『ウエズレーの国』

★自分の居場所、ちゃんとここにある。

あき

幼児

『びっくりまつぼっくり』 + 『きょうはみんなでクマがりだ』

★まつぼっくりの生態にびっくり！ クマがりにときどき！

『おなら』 + 『さつまのおいも』

★思わず「ぷっ」って大笑い。

『どんぐり』 + 『おおきなかぶ』

★みんなの力が次々つながると、どうなる？

『おいしいほしがき』 + 『とんとんとめてくださいな』

★秋の味覚の写真絵本に、ちょっぴりスリリングで楽しい物語をプラスして。

低学年

『バナナのはなし』 + 『ハンダのびっくりプレゼント』

★くだものづくしの読み聞かせ。

『ぼく、だんごむし』 + 『おだんごぱん』

★まるまるころころ。読み聞かせも楽しくテンポよく。

中学年

『しっぽのはたらき』 + 『なわとびしましょ』

★長めの科学絵本と、短めナンセンス絵本を上手に組み合わせよう。

『はじめてのかり』 + 『きょだいなきょだいな』

★壮大な自然を舞台に繰り広げられる、生き物の営みと、不思議な世界。

『まちのコウモリ』 + 『のっぺらぼう』

★夜のコウモリとおばけ。こわい？こわくない？

高学年

『ひがんばな』 + 『だごだごころころ』

★燃えるように色づくひがんばな。昔話も茜色の情景が美しい。

『まるをさがして』 + 『きつねのホイティ』

★アートな世界と、独特な色遣いが美しい物語を楽しんで。



ふゆ



幼児

『みかんのひみつ』 + 『ちいさなねこ』

★「こたつでみかん」の気分を味わったあとは、小さな冒険に出発。

『あーといってよあー』 + 『コッケモーモー！』

★寒い冬こそ、元気いっぱい声をだそう！

『さとうとしお』 + 『ゆきのひ』

★砂糖、塩、雪。共通点は…。

低学年

『おかしなゆきふしぎなこおり』 + 『おばあさんのすぱーん』

★自然の造形美を堪能したあとは、まさかの乗り物で雪山をかけめぐる。

『しもばしら』 + 『しんせつなともだち』

★霜をシャクシャク歩いていたら、素敵なことが起こりそう。

『リボンのかたちのふゆのせいざオリオン』 + 『てぶくろ』

★空気がキンと冷えた冬の日に楽しみたい。

中学年

『チョコレートだいすき』 + 『しりとりのだいすきなおうさま』

★おなかがすきそうな絵本2冊。しりとり遊びで、頭もフル回転！

『ふゆめがっしょうだん』 + 『メアリー・スミス』

★目覚めを待つ木の芽たち。寝ている人を起こす職業「目覚まし屋」たち。

『むしをたべるくさ』 + 『かえるをのんだととさん』

★虫を食べる？ かえるを飲む？ 意外な展開に、子どもたちもびっくり！

高学年

『ふしぎなナイフ』 + 『なんでも見える鏡』

★不思議な世界を、じっくり味わって。

『しまふくろう』 + 『天の火をぬすんだウサギ』

★厳しい自然を舞台に、科学絵本と昔話を組み合わせて。

テーマ索引

* 書名のあとの()内の数字は掲載ページを示しています。

生き物	うみべであそぼう(4) うんちしたのはだれよ！(5) おちばのしたをのぞいてみたら…(6) おなら(6) かたつむり(7) がぶりもぐもぐ！(8) くものいえ(8) こいぬがうまれるよ(9) ざりがに(10) しっぽのはたらき(10) ダンゴムシみつけたよ(13) てのひらかいじゅう(15) どんぐり(16) にんじゃあまがえる(17) はじめてのかり(18) ぼく、だんごむし(21) まちのコウモリ(21) みんなうんち(23)
(鳥)	しまふくろう(11) とりになったきょうりゅうのはなし(16)
(虫)	アリからみると(3) あわふきむし(4) うんちレストラン(5) かぶとむしはどこ？(7) すみれとあり(13) ぞうきばやしのすもうたいかい(13) どんぐりむし(17) ぼく、あぶらぜみ(20) むしをたべるくさ(23) やぶかのはなし(24)
いろ・かたち	いろいろなほん(4) おかしなゆき ふしぎなこおり(6) じゃぐちをあけると(12) スプーンぼしとおっぱいぼし(12) 月人石(15) だろだんご(16) 中をそうぞうしてみよ(17) にじ(17) ふしぎなナイフ(20) ふゆめがっしょうだん(20) まちにはいろんなかおがいて(21) まほうのコップ(22) まるをさがして(22) みずたまレンズ(23) やさいのおなか(23) リボンのかたちのふゆのせいざオリオン(24)
宇宙	スプーンぼしとおっぱいぼし(12) リボンのかたちのふゆのせいざオリオン(24)
顔	はなのあなのはなし(19) ふゆめがっしょうだん(20) まちにはいろんなかおがいて(21)
数	ウラパン・オコサ(5) かぞえうたのほん(7)
からだ	あーといってよあー(3) おなら(6) 歯がぬけた(18) はなのあなのはなし(19) ほね(21) みんなうんち(23)
季節 (春)	さくら(9) すみれとあり(13) たんぽぽ[金の星社](14) たんぽぽ[福音館書店](14) つくし(15) ハートのはっぱ かたばみ(18) ふきのとう(20) よもぎだんご(24)
(夏)	あさがお(3) うみべであそぼう(4) およぐ(7) かたつむり(7) かぶとむしはどこ？(7) くものいえ(8) ぞうきばやしのすもうたいかい(13) トマトのひみつ(16) にんじゃあまがえる(17) ぼく、あぶらぜみ(20) やぶかのはなし(24)
(秋)	おいしいほしがき(5) おちばのしたをのぞいてみたら…(6) どんぐり(16) どんぐりむし(17) ひがなばな(19) びっくりまつぼっくり(19)
(冬)	おかしなゆき ふしぎなこおり(6) しもばしら[岩崎書店](11) しもばしら[福音館書店](11) つららがぽーっとん(15) ふゆめがっしょうだん(20) みかん(22) みかんのひみつ(22) 雪の写真家ベントレー(24) リボンのかたちのふゆのせいざオリオン(24)
ことば・リズム	あーといってよあー(3) ウラパン・オコサ(5) おならうた(6) かぞえうたのほん(7) これはのみのぴこ(9) こんにちワニ(9) 月人石(15)
植物 (木)	くるくるくるみ(8) さくら(9) どんぐり(16) どんぐりむし(17) びっくりまつぼっくり(19) ふゆめがっしょうだん(20)

(草)	じめんのうえとじめんのした(11) つくし(15) ハートのはっぱ かたばみ(18) むしをたべるくさ(23) よもぎだんご(24)
(花)	あさがお(3) さくら(9) すみれとあり(13) たんぽぽ[金の星社](14) たんぽぽ[福音館書店](14) ひがなばな(19) ふきのとう(20)
食物連鎖	うんちレストラン(5) おちばのしたをのぞいてみたら…(6) がぶりもぐもぐ!(8) くさる(8) じめんのうえとじめんのした(11)
食べ物	あれこれたまご(4) くるくるくるみ(8) さとうとしお(10) つくし(15)
(お菓子)	チョコレートだいすき(14) よもぎだんご(24)
(果物)	おいしいほしがき(5) バナナのはなし(18) みかん(22) みかんのひみつ(22)
(豆)	しょうたとなつとう(12) だいずえだまめまめもやし(13) ピーナッツなんきんまめらっかせい(19)
(野菜)	トマトのひみつ(16) やさいのおなか(23)
天気	あしたのてんきは はれ?くもり?あめ?(3) おかしなゆき ふしぎなこおり(6) しずくのぼうけん(10) しもばしら[岩崎書店](11) しもばしら[福音館書店](11) にじ(17) みずたまレンズ(23) 雪の写真家ベントレー(24)
水	おかしなゆき ふしぎなこおり(6) およぐ(7) しずくのぼうけん(10) しもばしら[岩崎書店](11) しもばしら[福音館書店](11) じゃぐちをあけると(12) つららがぽーっとん(15) にじ(17) まほうのコップ(22) みずたまレンズ(23)
料理	あれこれたまご(4) くるくるくるみ(8) だいずえだまめまめもやし(13) チョコレートだいすき(14) よもぎだんご(24)

♪参加型絵本の遊び方♪

『あーといってよあー』(3) →「あー」という声の出し方は色々。皆で試してみよう。

『いろいろなほん』(4)

→絵本の指示どおりにページをさわってもらい、次のページでどうなるかを予想してもらう。

『ウラパン・オコサ』(5) →ルールにそって絵の中のものを数えて遊ぶ。

『中をそうぞうしてみよ』(17) →色々なものを透かした中身を想像してもらう。

『やさいのおなか』(23) →クイズ形式。断面のシルエットから何の野菜か当てる。

♪実演の方法♪

『ハートのはっぱ かたばみ』(18) →茎や葉を丸めて十円玉をこするとぴかぴかに。

『バナナのはなし』(18) →皮に楊枝で文字を書くと、文字が黒く浮き出てくる。

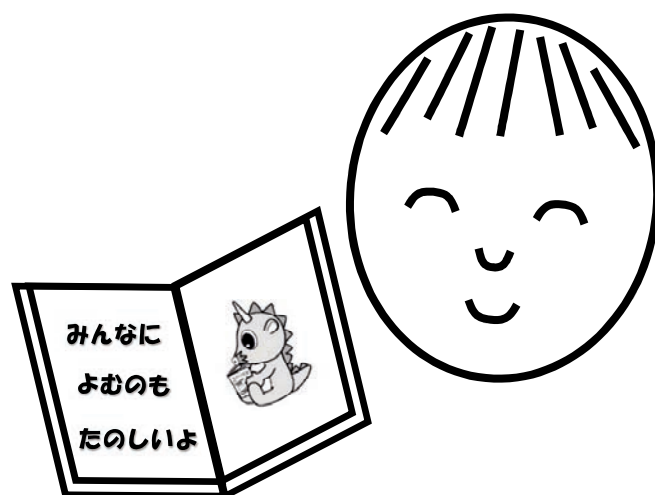
『びっくりまつぼっくり』(19)

→瓶の入り口より大きなまつぼっくりを瓶に入れる手品。

『まほうのコップ』(22)

→水を入れたガラスコップの後ろに色々なものを置いて見せる。

『やさいのおなか』(23) →色々な野菜の断面を用意して見てもらう。



編 集 さいたま市図書館「読み聞かせブックリスト」編集委員会

発行日 平成 30 年 3 月

発 行 さいたま市立中央図書館
さいたま市浦和区東高砂町 11-1

電話 048(871)2100

FAX 048(884)5500



さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

この「続ボランティア向け読み聞かせブックリスト」は 3, 000 部作成し、1 部当たりの印刷経費は 36 円（概算）です。